

目次

2023年4月修正済み

第1篇 JRの運賃・料金

Introduction 1 : はじめに

No.1 : JR運賃・料金 ① (運賃と料金、乗車券類の発売時期、年齢区分)

No.2 : JR運賃・料金 ② (運賃の算出)

No.3 : JR運賃・料金 ③ (運賃計算の特例)

No.4 : JR運賃・料金 ④ (運賃の割引)

No.5 : JR運賃・料金 ⑤ (料金の種類) 本資料に掲載

No.6 : JR運賃・料金 ⑥ (料金計算の例外)

番外 : 山陽・九州新幹線、東北・北海道新幹線の料金

No.7 : JR運賃・料金 ⑦ (乗継割引)

No.8 : JR運賃・料金 ⑧ (団体旅客の取扱い)

No.9 : JR運賃・料金 ⑨ (乗車券類の有効期間)

No.10 : JR運賃・料金 ⑩ (乗車券類の払戻し)

No.11 : JR運賃・料金 ⑪ (乗車変更、運行不能、列車の遅延、乗車券類の紛失)

第2篇 貸切バスの運賃・料金計算

No.12 : 貸切バスの運賃・料金

第3篇 宿泊料金の計算

No.13 : 宿泊料金の計算

第4篇 フェリーの運賃・料金計算

No.14 : フェリーの運賃・料金の計算

第5篇 国内航空の運賃・料金の計算

No.15 : 国内航空の運賃・料金 ① (航空運賃と航空券の規則)

No.16 : 国内航空の運賃・料金 ② (さまざまな航空運賃)

No.5 : JR運賃・料金 ⑤ (料金の種類)

運賃は輸送に対する対価であり、原則として出発駅から目的駅まで、移動する距離や路線の区分により算出しました。これに対し料金は「特別なサービスに対する対価」であり、特別なサービスが提供された場合に必要になります。

1. 主な料金

旅行管理者試験の対策として必要な料金は以下の通りです。

特急料金*1	指定席特急料金	特急列車の指定席が利用できます。
	自由席特急料金	特急列車の自由席が利用できます。
グリーン料金*2		特急列車用と普通車用の2種類があります。
寝台料金		1人用と2人用の個室寝台があります。
座席指定料金		普通列車の指定席が利用できます。

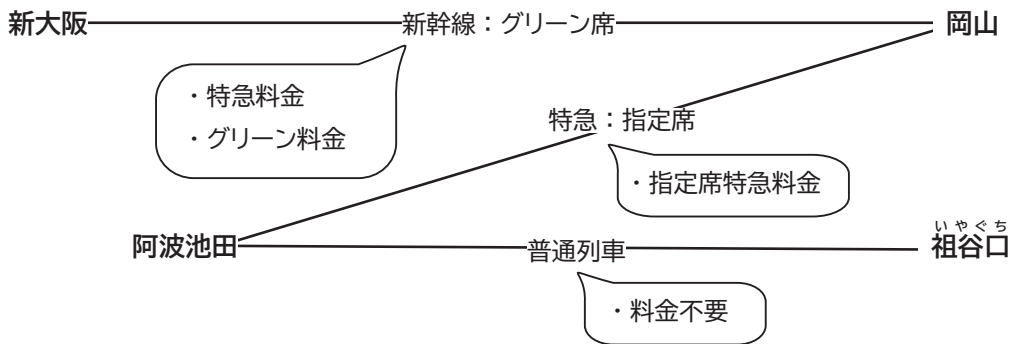
*1 特急はJR営業規則では「特別急行」といいますが、現在定期運行されている「急行列車」はなく、「特急」という表記が一般的に用いられています。

*2 グリーン車はJR営業規則では「特別車両」といいますが、旅行管理者試験や時刻表では「グリーン車(料金)」という表記が一般的に用いられています。

2. 料金計算の特徴

料金は以下のように、原則として利用した設備ごとに必要になります。

- 運賃は全区間（新大阪～祖谷口間）が必要



3. 特急料金

a. 新幹線と在来線の特急料金

特急料金は以下のように、新幹線と在来線の2種類があります。

《在来線の普通車指定席A特急料金 (JR北海道を除く) * : 通常期》

営業キロ	～ 50 km	～ 100 km	～ 150 km	～ 200 km	～ 300 km	～ 400 km	～ 600 km	600 km～
料金	1,290円	1,730円	2,390円	2,730円	2,950円	3,170円	3,490円	3,830円

営業キロを基準に、一定の範囲ごとに定められています。金額を覚える必要はありません。

- * JR北海道は、特急料金を別途定めています。
- ・ A特急料金とは、通常の特急料金で、これ以外にB特急料金という区分があります。
- ・ B特急料金とは、従来急行などが運行した区間が特急運行区間に昇格した場合、料金の上昇幅が過大になるため、A特急料金よりも低額に設定したものです。試験対策上は気にする必要はありません。

《新幹線の普通車指定席特急料金：通常期》

■ 東海道・山陽新幹線（ひかり、こだま）通常期 抜粋 単位：円

駅名	東京										
品川	2,290	品川									
新横浜	2,290	2,290	新横浜								
名古屋	4,710	4,710	4,710	名古屋							
京都	5,490	5,490	5,150	3,060	京都						
新大阪	5,490	5,490	5,490	3,060	2,290	新大阪					
新神戸	5,490	5,490	5,490	3,930	2,290	2,290	新神戸				
岡山	6,460	6,460	6,460	4,700	3,930	3,060	3,060	岡山			
広島	7,030	7,030	7,030	5,490	4,700	4,700	4,700	3,060	広島		
小倉	8,670	8,670	8,130	6,460	5,490	5,490	5,490	4,700	3,930	小倉	
博多	8,670	8,670	8,670	7,030	5,920	5,490	5,490	5,150	3,930	2,290	

- ① あらかじめ駅間ごとに設定されています。
- ② 「東北新幹線」「上越新幹線」「北陸新幹線」「九州新幹線」についても同様に、上記のような表が設定されています。
- ③ しかし、「東海道・山陽新幹線（のぞみ、みずほ）」と「東北新幹線（はやぶさ）」は、より高速の列車であり、それらの列車を利用するときは別の料金が適用されます。

■ 東海道・山陽新幹線（のぞみ、みずほ）通常期 抜粋 単位：円

駅名	東京										
新横浜	2,500	新横浜									
名古屋	4,920	4,920	名古屋								
京都	5,810	5,810	3,270	京都							
新大阪	5,810	5,810	3,270	2,500	新大阪						
岡山	7,100	7,100	5,230	4,360	3,380	岡山					
広島	7,880	7,880	6,230	5,340	5,230	3,380	広島				
博多	9,730	9,730	7,980	6,770	6,230	5,890	4,460				

東京～博多間では「ひかり、こだま」より1,060円高額です。

b. 利用する設備による特急料金の違い

- ① 特急列車には、「普通車指定席」「普通車自由席」「グリーン車」「寝台車」の設備の違いにより、料金が分かれています。そのため同じ日の利用でも、それぞれの特急料金は異なります。
- ② また、普通車指定席は利用する時季により、「最繁忙期」「繁忙期」「通常期」「閑散期」に分類されます。上記をまとめると以下ようになります。 前出の表は通常期です。

設備の違い		特急料金
普通車	指定席	最繁忙期 (通常期 + 400円)
		繁忙期 (通常期 + 200円)
		通常期 (前出の資料にある金額)
		閑散期 (通常期 - 200円)
	自由席	(通常期 - 530円)
グリーン車		(乗車日の普通車指定席 - 530円) ※ 別途グリーン料金が必要
寝台車		(乗車日の普通車指定席 - 530円) ※ 別途寝台料金が必要

この表は必ず頭に入れましょう。

《繁忙期・通常期・閑散期の例》

JR 東海・西日本（北陸新幹線を除く）・四国・九州※管内・JR 各社間を利用する場合	
最繁忙期	2023年4月28日～5月7日、8月10・11・13・16日、12月29・30日、 2024年1月3・4日
繁忙期	2023年4月1・2日、7月14～17・28～30日、8月4～6・9・12・14・15・19・20・25 ～27日、9月15～18日、10月6～9・13～15・20～22・27～29日、11月2～5・10～ 12・17～19・22～26日、12月28・31日 2024年1月2・5日、2月9・12日、3月22～31日
閑散期	2023年4月10～13・17～20・24～27、5月8～11日、6月1・5～8・12～15・19～ 22・26～29日、7月3～6・10～13・18～20日、8月28～31日、9月4～7・11～14・ 19～21・25～28日、10月2～5日、12月4～7・11～14・18～21日 2024年1月9～11・15から18・22～25・29～31日、2月1・5から8・13～15・19～ 21・26～29日
通常期	上記以外

JR 東日本・北海道新幹線・北陸新幹線を利用する場合	
最繁忙期	1月1日～6日、4月27日～5月6日、8月10日～19日、12月28日～31日
繁忙期	3月21日～4月5日、8月1日～9日、7月・9月・10月・11月の祝日が土・日と連続し3連休 以上となる場合の、当該連休とその連休の前日。
閑散期	1月7日～2月末日、4月21日～26日、5月7日～10日、6月1日～7月15日、9月1日～ 10月10日、11月1日～12月27日の期間の月～木曜。（ただし、祝日及びその前日、振替休日を除く）
通常期	上記以外

* 期間は会社ごとに及び新幹線と在来線の別により、又は年により異なっていますので覚える必要はありません。
試験では資料として示されます。 覚えきれません。^^;

(注) JR 北海道の「在来線」は「繁忙期・閑散期」の設定はなく、**通年で「通常期」**です。

※ JR 九州の「在来線と西九州新幹線」は「閑散期」の設定はなく、「最繁忙期・繁忙期・通常期」のみです。
ただし、北海道新幹線と九州新幹線は「最繁忙期・繁忙期・通常期・閑散期」の設定があります。

c. 具体例

① 東京 — (新幹線「のぞみ」普通車指定席：通常期 5,810円) — 新大阪

最繁忙期に利用：5,810円+400円= 6,210円

繁忙期に利用：5,810円+ 200円= 6,010円

閑散期に利用：5,810円- 200円= 5,610円

(注) 小児の特急料金は大人の**半額**です。最繁忙期に小児が利用するときは、

6,210円÷2= 3,105円 → 3,100円 (10円未満切り捨て)

② 東京 — (新幹線「はやぶさ」普通車指定席：通常期 5,360円) — 仙台

最繁忙期に利用：5,360円+ 400円= 5,760円

繁忙期に利用：5,360円+ 200円= 5,560円

閑散期に利用：5,360円- 200円= 5,160円

③ 岡山 — (特急「しまんと」普通車指定席：通常期 2,730円) — 高知

繁忙期に利用：2,730円+ 200円= 2,930円

閑散期に利用：2,730円- 200円= 2,530円

④ 札幌 — (特急「おおぞら」普通車指定席：通常期 3,170円) — 釧路

大人が利用：通年で3,170円

小児が利用：通年で3,170円÷2=1,585円→ 1,580円 (10円未満切り捨て) JR 北海道です。

⑤ 岐阜 —— (特急「ひだ」普通車自由席：通常期 2,950 円) —— 富山

繁忙期に利用：2,950 円 - 530 円 = 2,420 円

閑散期に利用：2,950 円 - 530 円 = 2,420 円 (2,950 円 ± 200 円又は +400 円) - 530 円としてはいけません。

⑥ 新大阪 —— (特急「くろしお」グリーン席：通常期 2,730 円) —— 白浜

繁忙期に利用：2,730 円 + 200 円 - 530 円 = 2,400 円

閑散期に利用：2,730 円 - 200 円 - 530 円 = 2,000 円 (2,730 円 ± 200 円又は +400 円) - 530 円とします。

※ 別途グリーン料金 (2,800 円) が必要です。

⑦ 東京 —— (寝台特急「サンライズ出雲」B寝台個室ソコ：通常期 3,830 円) —— 出雲市

繁忙期に利用：3,830 円 + 200 円 - 530 円 = 3,500 円

閑散期に利用：3,830 円 - 200 円 - 530 円 = 3,100 円 ⑤と⑥、⑦の違いに注意しましょう。

※ 別途寝台料金 (6,600 円) が必要です。

4. グリーン料金

a. グリーン料金の種類

- ① グリーン料金は、グリーン車を利用した区間の距離に応じて設定されています。
- ② 特急や快速、また会社間によって金額は異なります。
- ③ 小児がグリーン車を利用するときは、大人と同額のグリーン料金が必要です。 特急料金とは異なります。

《JR 北海道、JR 東海、JR 西日本（北陸新幹線を除く）などの特急のグリーン料金》

営業キロ	～100キロ	～200キロ	～400キロ	～600キロ	～800キロ	801キロ～
グリーン料金	1,300円	2,800円	4,190円	5,400円	6,600円	7,790円

- ④ また、JR 東日本・JR 西日本・JR 北海道には、上位ランクのグランクラスの設定もあります。

グランクラスもグリーン車の一種です。

《JR 東日本のグランクラス (A) ★料金》

営業キロ	～100キロ	～200キロ	～400キロ	～600キロ	～700キロ	701キロ～
グランクラス料金	6,540円	8,040円	9,430円	10,640円	10,840円	11,840円

b. 具体例 (いずれも通常期)

- ① 東京 —— (新幹線「のぞみ」グリーン車：通常期特急料金 4,920 円) —— 名古屋
営業キロ：366.0 キロ

特急料金：4,920 円 - 530 円 = 4,390 円

グリーン料金：4,190 円 (JR 東海のグリーン料金)

- ② 東京 —— (新幹線「はやぶさ」グランクラス (A)：通常期特急料金 7,330 円) —— 新青森
営業キロ：713.7 キロ

特急料金：7,330 円 - 530 円 = 6,800 円

グランクラス料金：11,840 円 (JR 東日本のグランクラス (A) 料金)

★ グランクラス A

グランクラスには A と B の 2 種類があります。

A にはアテンダントが乗車し、軽食や飲み物が提供されます。

B はこれらのサービスは提供されませんが、料金は A より低額に設定されています。

5. 寝台料金

- ① かつては「ブルートレイン」などが人気であった寝台列車ですが、次々と廃止され、現在は「サンライズ瀬戸（東京～高松間）」と「サンライズ出雲（東京～出雲市間）」が定期運行されているだけになっています。（両車は、東京～岡山間は併結されて運行しています。）
- ② 設定されている設備は「個室寝台」と「ノビノビ座席（普通車指定席）」です。

《寝台個室料金》

タイプ		寝台料金 (1人あたり)
1人用	シングルデラックス	13,980円
	シングルツイン	9,600円
	シングル	7,700円
	ソロ	6,600円
2人用	サンライズツイン	7,700円

- ③ 小児の寝台料金は大人と同額です。 グリーン料金と同様です。
- ④ 計算例

a. 寝台利用の場合

東京 ———（寝台特急「サンライズ瀬戸」ソロ：通常期特急料金 3,830円）——— 高松

営業キロ：804.7キロ

特急料金：3,830円（時季により + 400円、± 200円）－ 530円 = 3,300円

寝台料金：6,600円

b. ノビノビ座席（普通車指定席）利用の場合

特急料金：3,830円（時季により + 400円、± 200円）

寝台料金：0円

（重要！）「サンライズ瀬戸」は、一定の条件で「四国内の特急列車」と乗継割引を適用していましたが、2023年4月よりこの規則は廃止されました。テキストNo.7参照。

[Check Test No.6]

1. 次の記述が正しければ○を、誤っていれば×を付けなさい。

- (1) 新幹線に乗車するときは、特急料金が必要である。()
- (2) 小児の特急料金は大人と同額である。()
- (3) 特急列車の普通車自由席を利用するときは、特急料金について最繁忙期・繁忙期・通常期・閑散期の区別がある。()
- (4) 在来線の特急のグリーン車を利用するときは、列車が地方交通線を通過するときであっても、特急料金とグリーン料金は営業キロをもとに算定する。()
- (5) 小児のグリーン料金は大人の半額である。()

2. 記載された料金を参照して、次の記述が正しければ○を、誤っていれば×を付けなさい。（ただし、途中の駅では下車しないものとします。）

- (6) 次の行程を大人1人が、繁忙期に利用するときの特急料金は2,490円である。

新潟 ———（特急「いなほ」普通車指定席：通常期 2,290円）——— 酒田

(7) 次の行程を大人 1 人が、閑散期に利用するときの特急料金は 4,830 円である。

博多 — (九州新幹線「つばめ」普通車指定席：通常期 5,030 円) — 鹿児島中央

(8) 次の行程を大人 1 人が、閑散期に利用するときの特急料金は 2,440 円である。

鳥取 — (特急「スーパーおき」普通車自由席：通常期 3,170 円) — 新山口

(9) 次の行程を大人 1 人が、繁忙期に利用するときの特急料金は 2,420 円である。

長野 — (特急「しなの」グリーン車：通常期特急料金 2,950 円) — 名古屋

(10) 次の行程を大人 1 人が、閑散期に利用するときの特急料金とグリーン料金の合計は 12,100 円である。

新大阪 — (新幹線「みずほ」グリーン車：通常期特急料金 6,230 円) — 博多
営業キロ：622.3 キロ

《JR 西日本の特急のグリーン料金》

営業キロ	～ 100 キロ	～ 200 キロ	～ 400 キロ	～ 600 キロ	～ 800 キロ	801 キロ～
グリーン料金	1,300 円	2,800 円	4,190 円	5,400 円	6,600 円	7,790 円

運賃・料金 Check Test 解答・解説

No. 6

- (1) ○：新幹線はすべて特急列車です。よって乗車するためには特急券が必要です。
- (2) ×：小児の特急料金は大人の半額です。
- (3) ×：「最繁忙期・繁忙期・通常期・閑散期」の区別があるのは特急の普通車指定席を利用する場合です。
- (4) ○：在来線の特急料金とグリーン料金は営業キロを基準に設定されています。（「換算キロや擬制キロ」は運賃を算出するときに用います。）
- (5) ×：小児のグリーン料金は大人と同額です。（寝台料金も同様。）
- (6) ○：特急の普通車指定席を繁忙期に利用する場合は、特急料金は通常期より 200 円高額になります。よって、2,290 円 + 200 円 = 2,490 円になります。
- (7) ○：特急の普通車指定席を閑散期に利用する場合は、特急料金は通常期より 200 円低額になります。よって、5,030 円 - 200 円 = 4,830 円になります。九州新幹線には閑散期の設定があります。
- (8) ×：特急の普通車自由席を利用する場合は、特急料金は普通車指定席の通常期より 530 円低額になります。よって、3,170 円 - 530 円 = 2,640 円になります。（3,170 円 - 200 円 - 530 円ではありません。）
- (9) ×：特急のグリーン車を利用する場合は、特急料金は利用日の普通車指定席より 530 円低額になります。よって、2,950 円 + 200 円 - 530 円 = 2,620 円になります。（繁忙期なので 200 円増額します）
- (10) ○：特急料金は、グリーン車を利用しているため特急料金は利用日の普通車指定席から 530 円減額します。よって、6,230 円 - 200 円 - 530 円 = 5,500 円（閑散期なので 200 円減額します）
グリーン料金は「～ 800 キロ」にあたり、6,600 円。
よって、合計は 5,500 円 + 6,600 円 = 12,100 円。